

平成30年

# 春季全国火災予防運動が実施されます

3月1日(木)～7日(水)

統一防火標語

『火の用心 ことばを形に 習慣に』



本年も、3月1日から7日間にわたり春季全国火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災の発生しやすい

時季を迎え、防火防災意識を高めていただくことにより、家庭や地域、事業所などにおける火災を防ぎ、火災から尊い生命を守るとともに、貴重な財産の損失を防ぐことを目的として行われます。

平成29年中の小松島市管内における火災発生件数は17件であり、一昨年と比較して7件の増加となりました。

出火原因は、たき火の拡大やたばこの不始末などが多くなっています。火災は皆さんのかけがえのない生命や財産を奪います。しかし多くの火災、特に住宅火災などは一人ひとりが気を配ることで、防ぐことができます。

次の7つのポイントに注意し、住宅火災の発生を防止しましょう。

## 住宅火災の発生防止ポイント

### 【3つの習慣】

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 【4つの対策】

- ・逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- ・寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

## たばこの火災に注意しましょう

全国で発生した平成28年中の火災件数は36,831件で、出火原因別にみると、たばこは、放火について第2位となっており、3,483件が発生し、全体の9.5%を占めています。また、出火状況別にみると、不適当な場所への放置によるものが、2,054件(59.0%)であり、半数以上を占めています。何気なく吸っているたばこの温度は約700℃あり、この火種は、ちょっととした不注意から火災につながります。普段から十分注意しましょう。

### ○たばこ火災の特徴

たばこ火災の特徴として、火災初期は炎を伴わない無炎燃焼が起こりやすく、布団や畳を焦がしながら徐々に燃え広がり、多量の煙が発生した後に、発火し、炎を上げて燃焼す

ることから、火災が発生していることに長時間気付きにくい性質があります。そして、発火するまでに時間が掛かった場合には、外出中や就寝後の思わぬタイミングで火災が見えます。また、飲酒などをしていて深い眠りに就いていると、気付かないうちに煙を吸って、一酸化炭素中毒になることもあります。

### ○たばこ火災を防止するポイント

- ・寝たばこは、絶対にやめましょう。
- ・歩きながらの喫煙やポイ捨ては絶対にやめましょう。
- ・たばこは決められた場所で吸うようにしましょう。
- ・灰皿の中には水を入れておき、周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ・吸い終わったたら、火を完全に消すようにしましょう。
- ・吸い殻を捨てる時は、一度水にさらすなどして完全に火が消えたことを確認してから捨てるようにしましょう。

### 【お問い合わせ先】

市消防本部 ☎32・0119 / FAX32・3595  
Mail:shoubou@city.komatsushi.mai-tokushima.jp